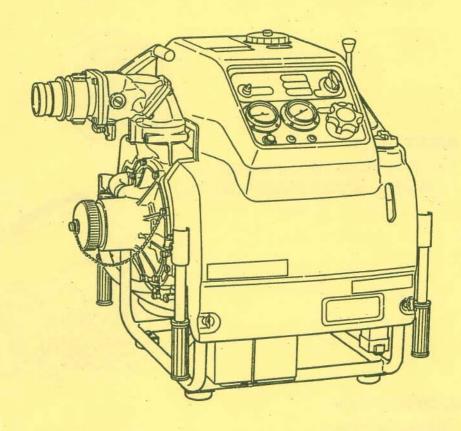
# 自動中継送水機能付き消防ポンプ

《操作マニュアル》

VC72AS-R/VC62AS-R





この操作マニュアルは、自動中継送水機能付き消防ポンプ[VC72AS-R/VC62AS-R]で自動中継送水運転を行う際の操作方法をまとめたものです。

基本的な消防ポンプの取扱いについては、別冊『トーハツ消防ポンプ取扱説明書』を参照して下さい。

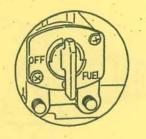
## 1. 自動中継運転の方法

本ポンプを中継送水の先(受水側)ポンプとして使用する場合は、以下の要領に従って下さい。

## 1)運転前の点検

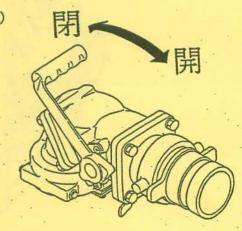
●燃料コック コックのレバーを下げて「開」にする。



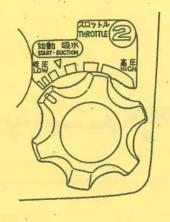


#### ●放水弁ハンドル

ハンドルを「開」側に倒し、放水弁を開く。 (運転中は、常時放水弁は開いておくこと。)

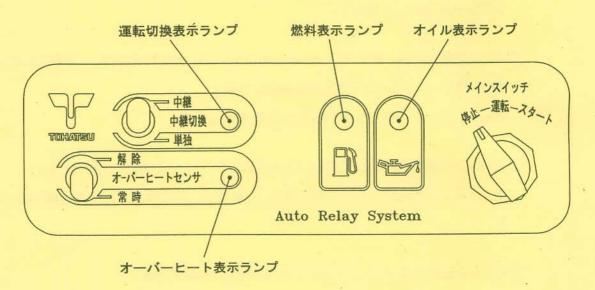


●スロットルダイヤル 最低圧位置にする。



#### 2)運転準備

#### オペレーションパネル



①メインスイッチを「運転」位置まで回す。

運転位置に切換えると、約1秒間全てのランプが点灯します。 もし、燃料又はオイル表示ランプが点灯したままでしたら、 下記のとおり対応して下さい。

〈燃料ランプ点灯〉: 自動車用レギュラーガソリンを燃料タンク に補給する。

〈オイルランプ点灯〉: 2サイクルエンジンオイルをオイルタンク に補給する。

②運転切換スイッチを「中継」側に倒す。 中継運転表示ランプが点灯します。



以上で中継送水運転の準備は完了しました。後は、元(送水側)ポンプから水が送られてくると自動的にエンジンが始動し、運転を始めます。又、停止も自動で行われます。

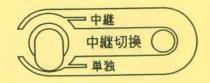
#### 3)始動·停止

- ①元ポンプからの送水が中継ポンプに到達し、真空連成計がO. 1MPa以上になるとエンジンが自動的に始動します。
- ②エンジン始動後は、電子スロットルによりエンジンの回転数を調整し、真空連成計が 約0.1MPaになるように自動的に制御されます。 従って、スロットルダイヤルでの圧力調整は不要です。
- ③元ポンプが運転を中止してから、約15秒後にエンジンは自動的に停止します。 尚、元ポンプの運転が再開された場合は、前項①、②の操作を自動的に繰り返しま す。
- ④エンジン自動停止後は、メインスイッチを「停止」位置まで回す。
- 【注意】やむをえずエンジンを緊急停止する場合は、メインスイッチを「停止」位置まで回して下さい。

#### 2. 単独運転の方法

自動中継送水によらないポンプ単独運転又は、自動中継送水運転不能時の手動運転の場合は、以下の操作を行って下さい。

1) 運転切換えスイッチを「単独」側に倒す。



2)運転方法については、別冊『トーハツ消防ポンプ取り扱い説明書』を参照下さい。

## 3. 安全機構について

- 1)オーバーヒートセンサー: 冷却水不足によるエンジン焼付き防止の為、エンジンを自動 的に停止させます。対処方法については、別冊『トーハツ消防 ポンプ取扱説明書』を参照して下さい。
- 2)吐出圧力自動制御:安全のため吐出圧力が約1. OMPa以上にならないように電子スロットルで自動制御されています。
  (ただし、中継運転時のみ)
- 3)オートパワーオフ:メインスイッチを切り忘れた場合のバッテリあがり防止のため、 中継又は、単独運転のどちらでもエンジンが停止してから、約 30分後に自動的に操作電源が切れて、バッテリの消耗を抑え ます。
- 4)始 動 不 能 :自動中継運転で自動始動しない場合は、運転切換表示ランプ が点滅し始動不能であることを表示します。
- 【注意】自動中継運転では、エンジン始動時セルスタータが「5秒間ON-3秒間OFF」の サイクルを6回繰り返します。

何らかの原因で、セルスタータが6回作動してもエンジンが始動できない場合は、中継運転表示ランプが点滅して始動不能を表示します。この場合、メインスイッチをOFF(停止)にして、始動不能の原因に対処して下さい。 再びON(運転)にするとリセットされ、自動中継運転に戻ります。

# 【注 意】消火栓より直接給水して自動中継運転を行う場合

消火栓のバルブを全開にして給水を行うと、大量の水がポンプ側に送り込まれます。本ポンプは、この送り込まれた大量の水を、そのまま先へ送水するよう自動 運転されますので、放水側の圧力が過大となり筒先員に危害を及ぼす危険性が あります。

従って、消火栓より直接給水する場合は、水量に充分注意して消火栓バルブの 開閉を行って下さい。

